



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3004回 例会2023.10.12 No.1665



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD

職 場 訪 問 例 会

見学施設：伊那食品工業(株) モンテリイナ

会長談話 山田 益会長

「小さな大企業」

評論家「唐津一（はじめ）」
 (1919/1/9～2016/8/15)氏が、
 TV番組で国内企業で小さくても素晴らしい技術、業績を上げられている会社の紹介番組でした。毎週有りまして録画していましたが VTRカセットがどこに有るのか不明ですので、覚えている分でお話します。

「信州伊那谷には、金より高い価格の物を作っている変な会社が有る」と唐津氏は伊那食品工業の「無菌寒天：アガロース」を紹介されました。全国の大学研究室や食品メーカーが色々の細菌や微生物の寒天培地として使われているとの事です。無菌寒天という事が大変重要なポイントです。一時期やはり TV番組で「みのもんた」氏が、健康に良いという事で寒天の有効性を話された時は、伊那食品さんには全国からくる電話などで大変だったと聞きました。一日に二万件を超える電話対応と電話に出ると相手から3回叱られるとか。中々電話に出ない、出ても寒天がない、製品が何時出来るのか分からないの回答にです。そして雑菌だらけの粗悪品寒天が出回った事です。伊那食さんは、塚越最高顧問の企業理念で「年輪経営」で毎年着実に成長しようとなっていましたから。



2008年には創業以来48年間増収増益を達成し、プレジデント誌に載りましたから、毎年着実に成長する経営に関心を抱く経営者が多く、トヨタグループや帝人など、多くの企業が見学に訪れています。

日本経済新聞によりますと2022年12月期の売上高は205億円、過去最高との事です。

お願いが有ります。現在国内では脱炭素社会を実現するために石炭火力発電を少なくする必要があります。そこで1つの方法としてバイオマス発電を地産地消で取り組んでほしいのです。それは石炭ではなく穀物「ソルガム」(モロコシ)を燃料として発電するのです。

ソルガムは高粱とも呼ばれていますが、稲や小麦が育たない地域でも成長します。穀物の世界の生産量では第5位です。最近のTV番組で杉山大志氏や石川和男氏も「ソルガム発電」について解説しています。これからのEV車社会には必要と思われる。



幹事報告 別紙をご覧ください

理事会報告

1. 10月のプログラム 2. 納涼会収支報告 3. 入会希望者について
これら全て承認された。

施設説明

伊那食品工業㈱

ふれあい事業部部長 瀧澤洋行 様

働く社員や地域の方、訪れる方々が安心して憩える空間を作りたいという想いのもと「かんでんぱぱガーデン」は1989年に生まれました。

お客様に新緑や紅葉、山野草を楽しんでいただこうと、毎朝社員が手入れを行っています。

かんでんぱぱショップをはじめ、寒天料理や地元名物が味わえるレストラン、入場無料のミュージアムや健康チェックが出来る施設など、工場周辺に広がる緑豊かな庭園になっております。

中央アルプスと南アルプス、2つの山脈の合間に生まれた「モンテリイナ」は、フランス語で「montagne」、イタリア語で「monte」という山を表す言葉と、長野県伊那市の「ina」をかけ合わせ2022年にオープンしました。

のびやかな眺望、全国各地から厳選したジャムやスイーツ、フルーツなど特産品や地元伊那谷の新鮮野菜など、選りすぐりの食材を通して季節や土地の恵みをお届けし、生活を彩るデザインプロダクトを楽しめる空間にしています。

モンテリイナがおすすめする商品は、期間限定で入れ替わり並びます。現在は、パリやニューヨークで行われたこともある羊羹コレクションが再現されています。

また、南信州中川村に位置する米澤酒造の銘酒が並び、試飲が楽しめます。地元の米、水、伝統的な技法にこだわったお酒は、国内外の品評会で多くの賞を受賞。試飲テーブルには、かつて使っていた大きな木槽が再利用され、酒蔵の歴史を感じていただけます。

南アルプスを眺めながら、ゆったり過ごせるイートインカフェスペースで、旬の野菜やフルーツを使ったサンドウィッチやスイーツ、ジェラートなどをご堪能いただけます。長野県にゆかりのあるお店がプロデュースするメニューをお楽しみください。



飯島松一職業・社会奉仕委員長より、御礼の言葉が述べられた。

